

〔 横浜みなとみらいホール 〕
令和5年度業務計画及び収支予算
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688 m ²
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

法人名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和10年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	平成10年2月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜みなとみらいホールの基本方針及び横浜市が進める「文化芸術創造都市」の施策に沿い、企画性が高く新しい視点を提供する事業展開によって国内有数のコンサートホールとしての独自の存在感を高めていきます。それと同時に音楽の持つ力によってもたらされる憧れや喜びを市民の方が最大限に享受し、夢を実現できる場所として愛されるコンサートホールであり続けることを大切にします。これまでの経験とノウハウも総動員しながら第3期の提案書に示した各使命を果たし、豊かな市民生活を支えるとともに、今後直面する様々な課題をも解決していくために、次の5つの方針で横浜みなとみらいホールの運営に取り組みます。

方針1 あらゆる世代の市民が創造性を発揮し活力のある持続可能な社会を支えます

「演奏する」、「聴く」、「制作する」という立場の垣根を意識せず、柔軟に自由に音楽と接する

機会を増やし、演奏家の創造性を高め、主体的に音楽を楽しむ市民の方を増やします。第三期指定管理期間は、演奏家が“ミュージシャン・プロデューサー”となって公演や事業を制作する取組を行っていきます。プロによる公演のほかにも市民の方の利用率がとても高いことも当館の特徴です。指定期間を通じて、「制作する演奏家」と「演奏する市民」を応援し、増やしていくことで、年齢や性別、既成の立場に関係なく、心を柔軟にし、新しい発想を生み出す土壌を育み、活力ある社会の実現を目指します

方針2 次世代育成や社会包摂に対する取組をさらに発展させます

年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的な状況等に関わらず、誰もが心豊かに暮らせる社会を支えるために、音楽は大きな力を発揮します。当館では、これまでも障害のある方が参加する事業を積極的に行ってまいりましたが、これをインクルージョンという視点で、音楽の力をさらに活用し、さらに様々な立場の人々への取組に広がっていきます。

方針3 困難な状況において音楽がいかにより人々の心を支えていくものであるかを示します

感染症の影響によって、音楽活動だけでなく、人々とのふれあいによる心の安らぎが蝕まれることがないよう、市民の方が生の音楽に触れ、感受性や想像力を育む機会を作り出します。指定期間を通じて、小さな演奏規模のコンサートや臨場感のあるオンライン配信による音楽体験など、あらゆる工夫で臨機に対応できる運営を目指します。

方針4 高い芸術性と創造性を発揮し街の魅力を発信するブランドとなります

住む人、働く人がこの街を誇りと感じられる価値と魅力を発信するブランドとしての信頼を形作り、国内外で高い評価を受ける演奏者が更に創造性を発揮する機会を作り、また、次世代を担う若者が公演の企画や運営を継続することで、高い芸術性と創造性が発揮されるコンサートホールとしての信頼を確立します。ユニークベニューとしてのMICE誘致への協力も含め、好循環を生み出すことを目指します。

方針5 市民が生き抜く力を湧きたたせる精神的基盤となります

質の高い生の芸術が生み出される瞬間に立ち会い、そこでしか感じることでできない刺激に感性が触れることによって聴く力、観る力、感じる力が育まれます。横浜みなとみらいホールは、年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的な状況等にかかわらず、このような経験によって、市民の方が生きる喜びを感じ、多様な価値観を得ることで、生き抜く力を湧きたたせる精神的基盤となります。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

—ときめく音楽を 海に見えるホールから—

新たなスローガンを掲げて再開館をした2022年10月以降、事業への来場者や、プロフェッショナル、アマチュアを問わずホール利用者には休館前と同様のご愛顧をいただき、多くの方に待ち望まれた再開館であったことをスタッフ一同実感しました。

令和5年度は、横浜みなとみらいホールの第三期指定管理期間の2年目であり、休館中に展開

した諸活動の成果を再開館後の活動にしっかりと引き継ぎ、活かす年度としていきます。

昨年度、区民文化センター、公会堂など、市民がより身近に感じる様々な会場で事業を展開した「横浜 18 区コンサート」や他館で実施した「こどもの日コンサート」、「みなとみらいスーパービッグバンド コン서트」等の実施によって新たに横浜みなとみらいホールを知ってくださったお客様も含め、再開される事業、新しくなった事業を広くアピールし顧客拡大を図ります。

広報チームを中心に、リニューアル広報展開時に構築した様々なメディアとの関係を発展させ、ウェブや SNS も活用しながら、広報プロモーションを強化します。またホールが戻ってきたことで、地域との関係もより深めていきます。「みなとみらい 21 ミュージックシティ推進委員会」においては、唯一のクラシック音楽専門ホールとして近隣施設等と連携しながら存在感を発揮します。

新型コロナウイルス感染症の影響については、予測が難しい状況が続きますが、「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」及び業種別ガイドラインを基に適切な運営を行います。

危機管理、個人情報管理、感染症防止、サイバーセキュリティ等に関するマニュアルや操作手順を見直し、事故や事務処理ミスのない年度とします。

イ 使命 1 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。

“プロデューサー・イン・レジデンス”は、国内外で一定の評価を受け将来を嘱望される演奏家と連携しながら企画性の高い新しい音楽を発信するプログラムです。開館 25 周年を迎える令和 5 年度も、プロデューサーとなる 2 人のアーティストの創造性や新しい視点を活かし、音楽に触れることへの期待感とコンテンツの独自性・発信性を高めていきます。

ウ 使命 2 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動の場を提供します。

国内プロオーケストラを始めとした質の高い公演をはじめとして、地域の音楽事業者や音楽団体による優良な公演の誘致を行います。初めてのご利用となる一般団体に対して、利用受付から利用終了までスムーズに、快適に、安全にご利用いただけるよう、舞台技術者とともに適切にサポートし、専門性を活かしたコーディネーター機能を発揮します。

エ 使命 3 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。

“演奏する人・聴く人・つくる人”と固定化しがちな立ち位置を越え、柔軟で自由に楽しめる新しい場や体験を創ることで、音楽に親しむ市民の裾野を拡張します。令和 5 年度も子どもたちによる主催事業の企画制作、次世代演奏家の育成プログラム、学校単位を越えて同世代と演奏を楽しむ子どもたちの支援やインターンシップなど、若い世代が音楽に触れ、横浜みなとみらいホールに集う機会を広く創出します。

オ 使命 4 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出します。

みなとみらい地区に位置するコンサートホールとして、周辺に集積する R&D や大学等とも連携しながら、あらゆる人達が音楽と出会う機会を多角的に創出します。横浜みなとみらいホールの企画力や周辺企業等との連携によるデジタル技術を活かし、音楽との接点を拡張する取組みを推進していきます。

- カ 使命 5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献します。

再開館から実施している運営方法の定着を目指すとともに、すべてのお客様が安心してコンサートホールで演奏会を楽しめるよう利用者サービスの質の向上をはかります。

また「音楽を奏でる街」として都市のブランディング確立を目指すみなとみらい 21 をはじめとした地域との多彩な連携に取り組み、都市としての横浜の魅力発信に貢献します。

- キ 使命 6 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図ります。

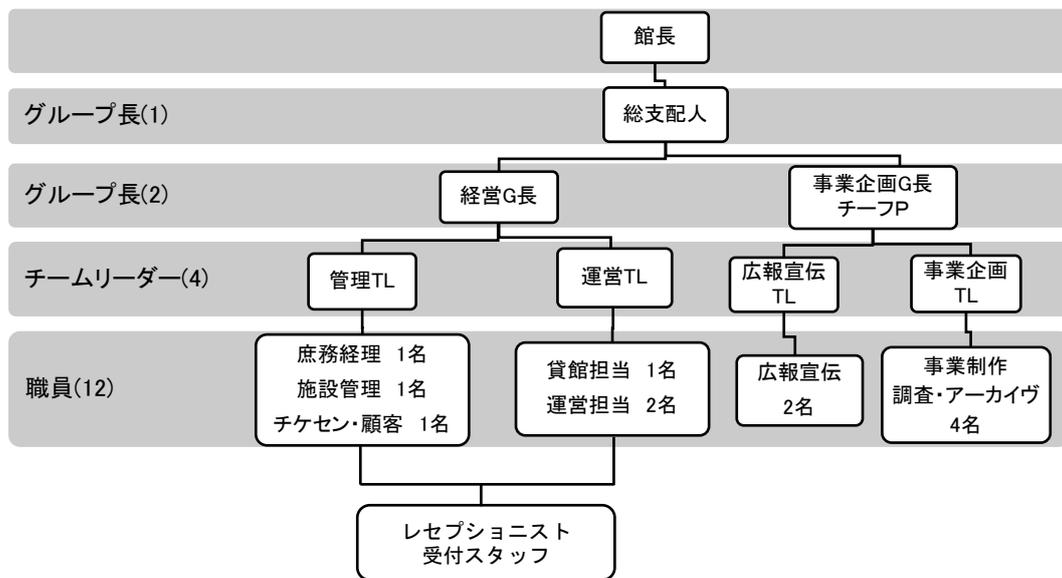
リニューアルオープンの機会をとらえて展開した広報プロモーションを継続します。休館中に定めたコンセプトとスローガン（「ときめく音楽を 海に見えるホールから」）を活用して当館の存在意義を打ち出し、「ミュージックシティ」を打ち出す街のブランディングに寄与し、市内唯一のクラシック音楽専門ホールとしてのプレゼンス向上を目指します。

- ク 使命 7 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続します。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下で、安全に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営を継続します。

横浜市と緊密に連携を取りながら新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底するとともに、さまざまなステークホルダーと情報共有を行い感染症の影響を最小限にする施設運営を実現します。

事業面ではこれまでデジタル化して蓄積した事業コンテンツを有効活用することにより、事業効果の達成を目指します。

4 運営組織の構造、人員配置



芸術監督としての館長の指示命令を受けて発信力を高めるために、事業制作力と広報発信力のスキルを高め企画力を強化します。チケットセンター、レセプション、受付スタッフを経営グループにて統括管理し横断的かつ効率的な館の運営を実現し質の高いサービスを提供します。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

令和4年度のリニューアルオープンでは、国内外の豪華アーティストが登場し、多くの注目が集まりました。ここで醸成された期待感を継続する事業を展開し、開館25年目を印象づけます。指定管理提案書に掲げる「使命」を軸に、企画性の高い高質な事業を実施し、国内有数のクラシック音楽専門ホールとして独自の存在感を高めます。

また、市民に寄り添い、音楽に親しむ機会を幅広く提供することで、「誰もが心豊かに暮らす横浜」の実現を目指します。子どもたちや若手アーティストの未来を育む次世代育成事業、あらゆる人達へ音楽を届ける社会包摂事業、地域・他ジャンルとの連携事業など、社会との接続性を意識した事業も積極的に実施します。具体的な取組内容や指標は指定管理業務計画表に記載します。

(2) 施設運営

館内施設の適切な利用提供に取り組みます。舞台業務、警備業務を専門会社に委託するとともにレセプションの再募集や新人へのフォローアップ研修を行うなど運営の質の向上に取り組みます。運営面の公式ウェブサイト上での練習室予約の安定的稼働を実現し、さらなる利用効率化に取り組みます。コンサートピアノ、パイプオルガンなど楽器や附帯設備については最良の状態となるよう調整を行います。

(3) 施設管理

2022年10月に発生したスプリンクラー事故をはじめとして、長期改修工事後に調整が必要となっている事項について適宜横浜市と情報共有に努め、コンサートホールとして快適な演奏環境と鑑賞環境の実現を目指します。引き続き施設設備の更新状況を把握し、設備スタッフ等の意見を聞きながら適切に運用すると同時に関係法令に則り安心・安全な施設管理を徹底します。具体的な取組内容や指標は指定管理業務計画表に記載します。

(4) 収支

事業企画グループの専門性に裏打ちされたコンテンツの魅力と、適切な広報プロモーション及び顧客分析により確実に事業収入を確保します。また、利用相談から公演当日まで、利用者のイメージを具体化する運営チームと舞台スタッフの質の高いサービスを継続することで、提案書上の利用料金収入を確実に確保します。

助成金、協賛金、その他の収入についても可能性を追求・検討し、多様な収入元の確保を目指します。

一方、燃料費高騰に伴う光熱水費の上昇が見込まれることから、各支出について必要性を精査、節減努力を継続します。

具体的な取組内容や指標は指定管理業務計画表に記載します。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

横浜市から示された書式に則り、定められた期限に業務計画書、業務報告書、自己評価表を提出します。

(6) その他

2022年度中に発生した個人情報漏洩に伴う事務処理ミスを教訓として日頃から再発防止に努め、適切な情報共有と教育訓練の実施により館内職員、スタッフのリスク管理能力の向上をはかります。

6 使命の指標の達成状況

- (1) 使命1 市民が多様な音楽に親しむ機会を提供し、国内外から高い評価を受ける創造・創作の拠点となります。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	ホール におけ るジャ ンル別 の公演 回数及 び入場 者数	公演 数	クラシカル	34本	27本	—	—	—	31本	—
			ポピュラー	3本	2本	—	—	—	2本	—
	入場 者数	クラシカル	17,861 人	32,000 人					40,000 人	
		ポピュラー	2,787 人	2,500 人					3,000 人	
2	横浜みなとみらいホールなら ではの企画数		12	10	—	—	—	12	—	
3 ★	プロデューサー・イン・レジ デンス事業		4	6事業 (累計)	—	—	—	15事業 (累計)	—	
4 ★	新作委嘱作品と過去委嘱作品 再演本数		4	4作品 (累計)	—	—	—	10作品 (累計)	—	
5 ★	おとなポップス公演数		0	2企画 (累計)	—	—	—	10企画 (累計)	—	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	横浜みなと みらいホー ルの事業モ ニター(※) による評価	R 4 実績	リニューアル記念事業 3 公演で事業モニター実施 (10/29 神奈川フィルハーモニー管弦楽団、11/3 井上道義 指揮 NHK 交響楽団、11/25 近藤岳オルガンリサイタル)
		R 5 達成指標	4つの事業に対し、事業モニター実施（リニューアルオー プン事業（2022年のみ）、おとなポップス、オルガンコン サート・シリーズ、ジルヴェスターコンサート、クラシッ ク公演（2023年以降））
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	モニタリングの結果、対応すべき事柄について事業に反映 されている
		R 8 実績	—

2	横浜みなと みらいホー ルの事業等 のアーカイ ブ作成と公 開	R 4 実績	アーカイブ立ち上げに向けた準備、資料整理
		R 5 達成指標	アーカイブの立ち上げ
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アーカイブ更新・運用（定期的に映像公開）
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

国内外で一定の評価を受け将来を嘱望される演奏家と連携し、新たな音楽を発信する“プロデューサー・イン・レジデンス”による企画を積極的に実施します。初代プロデューサー藤木大地氏・2代目プロデューサー反田恭平氏による創造性や新しい視点を活かし、市外とのネットワーキングやジャンルを越えて音楽に触れる機会を創出します。

また、横浜で歴史を積み重ねてきた伝統ある事業「横浜市招待国際ピアノ演奏会」のアーカイブを立ち上げ、過去から未来に向けた価値・魅力の発信につなげます。

(2) 使命2 市民や文化団体の音楽活動を支え、音楽専門ホールとしての活動を提供する。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	大ホール (日単位)	100%	97%	—	—	—	97%	—
	小ホール (日単位)	98%	97%				98%	
	リハーサル室 (日単位)	81%	68%				71%	
	音楽練習室 (コマ単位)	60%	82%				85%	
	レセプション ルーム (コマ単位)	33%	35%				40%	
2	プロフェッショナルのオーケストラ、アーティストの指定管理者以外の公演数	81	90				100	
3 ★	利用下見・相談件数	55 件	150 件	—	—	—	150 件	—

4		ホール						
★	利用者アンケートによる満足度（5点満点）	4.8 練習室 4.3	4.7 以上	—	—	—	4.7 以上	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	市内音楽団体の活動状況把握	R 4 実績	実施せず
		R 5 達成指標	市内音楽団体リスト整備・運用
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	リスト更新とともにホール利用時の助言等に生かす
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

再開館に際してスプリンクラー事故が発生しましたが、復旧に関する情報や感染症対策など利用者に対して適切に共有するなど公演運営が適切に実施できるよう、利用者の公演運営を様々なサポートします。また、当館が音楽専門ホールとして市民や文化団体の音楽活動を支援することができるよう、当館を利用する文化団体のリスト整備に取り組みます。

(3) 使命3 次世代を担う芸術家や音楽と社会をつなぐ人材を育むとともに、音楽に親しむ市民の裾野を広げる。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子ども（高校生以下）の来館者数	27,756人	主催公演 35,000人	—	—	—	主催公演 40,000人	—
2	初めて横浜みなとみらいホールを訪れた人の割合（世代別、アンケート結果）	24.3%	全世代 20%	—	—	—	全世代 20%	—
★	こどもの日コンサートの企画に参加した中学生の人数	27人	30人 (累計)	—	—	—	40人 (累計)	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもの頃や若手の頃に横浜みなとみらいホールで活動を行い、横浜みなとみらいホールから活躍の場を広げていったアーティストの状況把握	R 4 実績	調査
		R 5 達成指標	アーティストリスト作成
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	リスト更新・主催事業への起用
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

子どもたちが横浜みなとみらいホールに集うことができる多彩な企画を実施します。「こどもの日コンサート」では会場に集う子どもたちに加え、中学生がプロデューサーとして公演制作に携わり、社会の中で音楽の持つ力を意識する人材を育みます。音楽を通じた社会との交流体験を深めます。

また、「指定管理業務計画表」に記載の通り、「心の教育ふれあいコンサート」による本格的なクラシック演奏鑑賞、中高生によるジャズ演奏活動「みなとみらい Super Big Band」など、若年層の来館を推進するプログラムを計画的に実施、音楽に親しむ市民の裾野を広げます。

(4) 使命4 年齢、性別、国籍、言語、障害の有無、経済的状况等にかかわらず、あらゆる人たちが音楽に触れる機会を創出する。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	社会包摂の実現を目指す事業数	2 事業	5 事業	—	—	—	5 事業	—
2	学校等へのアウトリーチの実施数	5 事業	5 事業	—	—	—	5 事業	—
3★	特別支援学校との協働プロジェクト数	1 件	2 件				2 件	
4★	支援学級との協働プロジェクト数	1 件	4 件	—	—	—	4 件	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	あらゆる方に音楽に触れてもらうためのノウハウの蓄積	R 4 実績	これまでの取組整理
		R 5 達成指標	マニュアル作成
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	マニュアル更新
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

あらゆる人達が音楽に触れる機会を創出するために、障害の有無に関わらず誰もが音楽の楽しさを享受できる事業を継続して実施します（ミュージック・イン・ザ・ダーク、だれでもピアノ等）。継続して実施することで、公演制作のみならず、障害のあるお客様を会場にお迎えする際のノウハウも蓄積していきます。また、「指定管理業務計画表」に記載の通り、特別支援学校等向けのプログラムも実施し、今後の施設利用の提案に活かします。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、継続可能性を高める施設運営を行い、地域社会に貢献する。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施率	100%	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	104%	90%	—	—	—	90%	—
4★	施設・設備の更新状況を把握し、事業継続計画策定	危機管理マニュアル作成	危機管理マニュアル再整備				危機管理マニュアル検証	
	災害マニュアルに則った災害訓練	1回	2回				2回	
5★	地域における連携先の開拓（施設、企業）	4件	1件（累計）				5件（累計）	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング (アンケート調査、インタビュー調査の実施)	R 4 実績	アンケート調査実施
		R 5 達成指標	利用者懇談会など実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	ヒアリングで得られた要望のうち必要と判断される案件に対し迅速に対応できている
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	改修工事後の光熱水費等のデータ収集
		R 5 達成指標	実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	総括
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

昨年度に続きホール運営のポイントを分かりやすくまとめ、利用者との打合せで丁寧に確認を行います。また音楽練習室のウェブ予約については引き続きご利用方法に関する情報を広く周知し登録者数の増加に取り組めます。

「音楽を奏でる街」として都市のブランディング確立を目指す横浜みなとみらい 21 が設置する、「みなとみらい 21 ミュージックシティ推進委員会」に参画しエリアプロモーションに協力するとともに、市内唯一のコンサートホールとしてのプレゼンス向上を目指します。

- (6) 使命6 大規模改修による長期休館を活かし、横浜みなとみらいホールのプレゼンスの向上を図る。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	SNS フォロワー数	11,181 ※R5年 2月現在	8,000	—	—	—	10,000	—
2 ★	大規模改修工事期間の18区 コンサート開催と有料入場者 数 2,000人	R3・4 年度で 全18	—	—	—	—	—	—

		区の会 場で実 施/ 3,322 人						
3 ★	大規模改修工事期間のウェブ 会員新規登録者数 既存登録 者数の10%以上	R3 比 約21% 増 16,994 人	R4 比 約3.5% 増 17,594 人	—	—	—	R4 比 約17.7% 増 20,000 人	—

※2・3については、R4実績をもとに目標設定予定

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通 番	項 目	達 成 指 標 と 各 年 度 の 実 績	
1	リ ニ ュ ー ア ル オ ー プ ン に 際 し て の ウ ェ ブ サ イ ト で の ア ピ ー ル	R 4 実 績	実 施 （ ウ ェ ブ サ イ ト 更 新 ）
		R 5 達 成 指 標	実 施 （ ウ ェ ブ サ イ ト 更 新 ）
		R 5 実 績	—
		R 6 実 績	—
		R 7 実 績	—
		R 8 達 成 指 標	継 続
		R 8 実 績	—
2	横 浜 み な と み ら い ホ ー ル に 関 す る コ メ ン ト の 把 握	R 4 実 績	コ メ ン ト 把 握
		R 5 達 成 指 標	把 握
		R 5 実 績	—
		R 6 実 績	—
		R 7 実 績	—
		R 8 達 成 指 標	総 括
		R 8 実 績	—
3	リ ニ ュ ー ア ル オ ー プ ン に 向 け て の ス タ フ 育 成	R 4 実 績	レ セ プ シ ョ ニ ス ト 採 用 研 修 、 フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修 実 施
		R 5 達 成 指 標	研 修 実 施 等
		R 5 実 績	—
		R 6 実 績	—
		R 7 実 績	—
		R 8 達 成 指 標	—
		R 8 実 績	—

ウ 使命6を達成するために重点的に取り組む事項

ホールが常に身近な存在となるよう、SNSでの適時発信によってフォロワーを増やします。

公演情報だけでなく、アーティストや楽曲、みなとみらいエリアの魅力など多面的に紹介することで、ホールへの来場がより楽しいものとなるよう発信します。

寄せられたコメントを把握し対応することで、公演のチケット販売促進や利用者サービスの向上につなげます。

業務の基準及び提案書に則り、施設運営に不可欠な人権研修、個人情報保護研修などを実施します。財団が施設職員を対象に行う各種研修、横浜市の主催する施設保全研修などに参加、専門性、マネジメント能力の向上を目指します。また、接客サービスレベル向上のため、レセプションist及びチケットセンタースタッフの新規採用時研修や、フォローアップ研修を行います。

令和5年度 横浜みなとみらいホール事業一覧

No	実施時期	主催・共催・協力	事業名	会場	概要
1	4月21日	主催	横浜うたまつり	大ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023」藤木大地によるプロデュース企画。オペラ、ミュージカル、ポップス、各界のスターによる夢共演。
2	5月5日	主催	こどもの日コンサート(2回公演)	大ホール	毎年開催しているファミリー向けのコンサート。オーケストラの魅力をお楽しみいただくと共に、令和3年度より開始した中学生が公演制作を経験する「中学生プロデューサー」制度を継続して実施し、子ども達が主体的となって創り上げる公演。
3	5-8月	協力	「藤木大地 & みなとみらいクインテット」 (新潟・大和高田、横須賀公演)	りゅーとびあ 大和高田さざんかホール 横須賀芸術劇場	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023」藤木大地によるプロデュース企画。横浜で制作した歌とピアノ五重奏による室内楽公演を日本各地の文化施設と連携して開催。
4	5-8月	共催	金の卵見つけました。	小ホール	ヴァイオリニスト、チェリストを目指す小学生～大学生を全国から募るオーディション。5月実施の予選、本選を経て、選ばれた演奏家が、N響のメンバーを中心としたプロ・オーケストラをバックに協奏曲の演奏を6月に行う。また、次点入賞者による演奏会も夏に実施。
5	5月10日	共催	クリストフ・エッセンバッハ指揮 ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団	大ホール	世界的なマエストロ、クリストフ・エッセンバッハがベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団を率いての来日。
6	6月1日	共催	ストラディヴァリウス・サミット・コンサート 2023	大ホール	総額100億円とも言われるストラディヴァリウス11挺が集結。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の特別アンサンブルによる公演。
7	6月9日	主催	横浜みなとみらいホール開館25周年記念 Dive into the Future	大ホール	第2代ホールオルガニスト近藤 岳プロデュースのもと、J. S. バッハから現代、そして未来へ向けての音楽のメッセージ、そして誰も聴いたことのない音との邂逅を体感するコンサート。
8	7月10日	共催	N響オーチャード定期 in横浜 (年間3回/7・10・3月)	大ホール	東急Bunkamuraとの連携により、Bunkamura改修工事中、2023/2024のN響オーチャード定期公演を、Bunkamuraオーチャードホールと横浜みなとみらいホールにて開催する。
9	7月29日、 31日	協力 主催	みなとみらいアコースティックス2023 (多治見、横浜)	パロー文化ホール 大ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2021-2023」藤木大地による最後のプロデュース企画。第2代プロデューサー反田 恭平、気鋭の務川慧悟を迎えた歌とピアノの共演。多治見での連携公演も開催。
10	8月4・5・9・ 10・11日	主催	[みなとみらい遊音地] だれでもピアノ®体験	エントランスロビー	右手を指1本で演奏すると左手の自動伴奏がついてきて、誰もが素敵な演奏をすることができる夢のピアノの体験実施。
11	8月4日	主催	[みなとみらい遊音地] おやこオペラ教室2023 「ヘンゼルとグレーテル」(2回公演)	大ホール	こどものためのワークショップと実際にオペラを鑑賞する「オペラをみてみよう」の2部構成によるこどもに向けた入門公演。

12	8月9日	共催	[みなとみらい遊音地] ハマのJACKのおんがくベビーランド (0歳、1歳/2回公演、2歳/2回公演)	小ホール レセプションルーム 6階事務室	N響メンバーを中心に構成された「ハマのJACK」による未就学 児や赤ちゃんと親子でクラシックに触れていただく公演。
13	8月9日	主催	[みなとみらい遊音地] オルガン・ワークショップ 横田博士のわくわくオルガン研究所(ラボ)	リハーサル室	オルガン製作者である横田宗隆とホールオルガニストの近藤 岳によるワークショップ。小型のオルガンを用いて、オルガンの 構造を学ぶ。
14	8月9日	主催	[みなとみらい遊音地] はじめてのパイプオルガン	大ホール	横浜みなとみらいホールのシンボル、大ホールのパイプオルガ ンLucyを体験するワークショップ。
15	8月9日	主催	[みなとみらい遊音地] ルーシーを奏でる幸せな10分	大ホール	鍵盤楽器経験者を対象に、横浜みなとみらいホールのシンボ ル、大ホールのパイプオルガンLucyを10分間演奏することので きるワークショップ。
16	8月10日	主催	[みなとみらい遊音地]工藤重典 フルート・ スペシャル・プログラム 工藤重典と若手フルート奏者の出会い	小ホール	フルート界の巨匠・工藤重典が若手フルート奏者と共演。「第38 回かながわ音楽コンクール」優秀者たちが一堂に会し、それぞ れの個性が光るソロや、アンサンブルを披露。
17	8月11日	主催	[みなとみらい遊音地]工藤重典 フルート・ス ペシャル・プログラム 素晴らしいフルート・アンサンブルの世界	大ホール	世界で活躍するフルート奏者・工藤重典が、信頼する名手たち と共演。様々な表情を持つ奥深いフルートの世界を紹介する公 演。
18	8月11日	共催	[みなとみらい遊音地] ハマのJACKのおんがくファミリーランド どう ぶつコンサート《金沢動物園の謝肉祭》 (2回公演)	小ホール	金沢動物園の協力による映像に、N響メンバーを中心に構成さ れた「ハマのJACK」が演奏をつける子供向けの公演。
19	8月26日	共催	ハマのJACKサロンコンサート	レセプションルーム	「金の卵見つけました」の過去の実績者によるコンサート。
20	9月 -10月	共催	心の教育ふれあいコンサート	大ホール	平成10年度より、横浜市教育委員会が市内小学校(4年~6年 のうち1学年)と特別支援学校の児童を対象に企画したコン サート。
21	9月 -10月	主催	パイプオルガンと横浜の街	市内各所	日本で初めてパイプオルガンが建造された街、横浜の現代に 響くパイプオルガンを巡り、横浜の魅力を再発見するフェスティ バル事業の5年目。
22	11-12月	主催	だれでもピアノ®体験カフェレッスン	レセプションルーム 市役所アトリウム	シニア層のウェルビーイングを目的に「だれでもピアノ®」を用い たグループレッスンを実施。5回のレッスンの後に、市役所のア トリウムで修了発表会を実施。スマートウォッチで参加者の健 康状態を計測し影響を調べる。(協力:東海国立大学機構)
23	11月3日	主催	第41回 横浜市招待国際ピアノ演奏会	小ホール	国内外から公募し、企画委員会にて選定された出演者による 演奏会。出演者と小中学生との交流会など出演者間や市民と の交流の場を設ける。また、プロを目指す学生に向けた公開マ スタークラスも実施。

24	11月4日	共催	チェコ・フィルハーモニー管弦楽団	大ホール	セミヨン・ビシュコフ(指揮)とチェコ・フィルの黄金コンビが贈る決定版の2曲。ドヴォルザークの交響曲第8番&「新世界」。
25	11月15日	共催	ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2023 大和ハウス Special フランツ・ウェルザー＝メスト指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	大ホール	世界を代表するオーケストラ、ウィーン・フィルによる来日公演。名指揮者ウェルザー＝メストに加え、ソリストにラン・ランを迎え、至高の演奏をお届けする。
26	11月23日	主催	発達支援ワークショップ「音と光の動物園」	小ホール レセプションルーム	集団生活やコミュニケーションが苦手な子どもたちと保護者を主な対象とした、ペーパークラフトづくりやデジタル・アート、音楽と映像のコンサートを親子で体験できる参加体験型のワークショップ。
27	11月28日	主催	お城EXPOスピンオフコンサート 《都響メンバーによる》NINJA BRASS	大ホール	パシフィコ横浜で毎年開催される日本最大級の城郭イベント「お城EXPO」を機に、横浜みなとみらいホールのプロデュースで結成した、東京都交響楽団のプラスセクションのメンバーによるコンサート。
28	12月 -3月	主催	10代のためのパイプオルガン・レッスン	市内 大ホール	小学生から高校生を対象としたパイプオルガン演奏を指導する講座。4か月全10回のレッスンと大ホールでの修了演奏会を開催。
29	12月10日	共催	フォーレ四重奏団	小ホール	世界屈指のピアノ四重奏団としての地位を確立しているフォーレ四重奏団による公演。横浜みなとみらいホールには2016年・2018年に続く来日。
30	12月22日	主催	クリスマス・パイプオルガン・コンサート2023 大平健介・長田真実	大ホール	毎年恒例のクリスマス・オルガン・コンサート。エリアの賑わいを創出し、普段あまりコンサートホールに訪れない市民でも足を運びやすい公演として実施。
31	12月31日	主催	石田組年末感謝祭(2回公演)	大ホール	年末恒例のコンサートを再開館を機に新井館長プロデュース企画としてリニューアル。出演者には、2014年に横浜みなとみらいホールで旗揚げ公演を開催した男性だけの弦楽アンサンブルユニット「石田組」を起用し、マチネとソワレの2公演で盛り上げる。
32	2月10日	主催	レクチャー: 和洋邂逅《謡曲から戯曲へ、もう一つの結末》[谷行/ヤーザーガー/ナインザーガー]作品比較(仮)	レセプションルーム	能「谷行」を元に、ドイツの劇作家ベルトルト・ブレヒト制作した戯曲《イエスマン》《ノーマン》について、日独の文化交流の視点でレクチャーする。
33	2月22- 24日	共催	第43回ヨコハマ・コーラルフェスト	大ホール 小ホール	横浜市内の合唱団が市民ボランティアの運営により集結し合同演奏会を開催。
34	3月2日	主催	Just Composed 2024 in Yokohama — 現代作曲家シリーズ —	小ホール	気鋭の作曲家への新作委嘱と委嘱作品の再演を軸として、同時代音楽を未来へ継承するシリーズ企画。今回は北爪裕道への新作委嘱が決定。チェロとエレクトロニクス(有馬純寿)で、渡辺 愛の《unimaginary landscape》を再演。
35	3月10日	主催	横浜みなとみらいホール オルガン・リサイタル・シリーズ47 鈴木雅明オルガン・リサイタル	大ホール	日本が世界に誇る音楽家、鈴木雅明が満を持してシリーズに初登場。鈴木が率いるバッハ・コレギウム・ジャパンの合唱メンバーによるコーラルとともに、バッハの「ドイツ・オルガン・ミサ」(《クラヴィーア練習曲集第3部》)をお届けします。

36	3月20日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭] ミュージック・イン・ザ・ダーク	小ホール	視覚に障がいのある演奏家と晴眼の演奏家のアンサンブルが、会場の照明をすべて消した空間で共につくるコンサート。障がいの有無にかかわらず、誰もが音楽を楽しむ機会を創出する。
37	3月21日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭] あなたに届けるためのコンサート	ホール内各所	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2023-2025」反田恭平によるプロデュース企画。館内の至るところで、反田やジャパン・ナショナル・オーケストラのメンバーが、少人数に向けたコンサートを展開します。
38	3月21日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭] 室内楽コンサート(仮)	小ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2023-2025」反田恭平によるプロデュース企画。ミュンヘン・フィルメンバーを迎えた室内楽コンサート。(仮)
39	3月22日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭] 0歳向けコンサート(仮)	小ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2023-2025」反田恭平によるプロデュース企画。コンサートホールへの入場が難しい未就学児向けのコンサート。
40	3月23日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭] 反田恭平指揮、ジャパン・ナショナル・オーケストラ「指揮者のための協奏曲」	大ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2023-2025」反田恭平によるプロデュース企画。前館長・池辺晋一郎がこの日のために作曲した協奏曲を、反田自身の指揮振りで披露。中学生に向けたリハーサルの公開や、特別支援学校の生徒を招待したプロジェクトも行う。
41	3月24日	主催	[横浜みなとみらいホール25周年音楽祭]ピ アノの海	大ホール 小ホール	「横浜みなとみらいホール プロデューサー 2023-2025」反田恭平によるプロデュース企画。反田恭平ほか、若手ピアニストたちによるコンサートを、一日に複数回実施。
42	通年	主催	オルガン・1アワーコンサート (4・7・10月／計3回)	大ホール	横浜みなとみらいホール開館以来の名物企画。再開後は、初めてホールに来る方・初めてオルガンを聴く方を主たる対象と考えて、より気軽に来場できる内容とする。
43	通年	主催	オルガン1ドルコンサート (5・8・9・11・1・3月／計6回)	大ホール	従来の「オルガン・1ドルコンサート」の来場者から寄せられていた「もう少し聞きたい」という声にこたえつつ、より本格的な公演への橋渡しともなるように新設するシリーズ。
44	通年	主催	ランチタイムコンサート (4・6・8・10・12・2月／計6回)	大ホール (第1回のみ小ホール)	横浜みなとみらいホールのお昼のコンサートシリーズをリニューアルを機会に刷新。年間6回、異なるジャンルのアーティストを迎え、11:30から約1時間、気軽に楽しんでいただくコンサートを展開。
45	通年	主催	みなとみらい Super Big Band (練習週1回、演奏会56・8・9・10・3月／計5回)	リハーサル室 大ホール、市内各所	次世代育成プログラムとして、熱帯JAZZ楽団のサポートを受け結成した、中高生ビッグバンド「みなとみらい Super Big Band」。子どもたちにジャズの魅力を身近に伝え、ジャズを演奏する機会を提供する。
46	通年	共催	日本ベートーヴェンクライス特別定例 (よこはま例会)(年2回／6・10月)	レセプションルーム 小ホール	ベートーヴェンの音楽を研究し、普及させることを目的とした団体によるレクチャー付き公演。
47	通年	協力	日越外交関係樹立50周年記念 新作オペラ アニオー姫 (9・11月)	ハノイオペラハウス 昭和女子大学人見記念講 堂	横浜みなとみらいホールがプロデュースの協力を行う、日越制作陣による新作オペラ。9月のハノイでのプレミア、11月に日本公演が行われる。

48	通年	主催	オルガニスト・インターンシップ	大ホール	ホールオルガニストに求められる役割について実際に体験と訓練をしていただくことを目的に、2002年度より実施する制度。19期となる今年度は2名インターン生を迎え、ホールオルガニストが指導にあたる。
49	通年	主催	だれでもピアノ®特別支援学校	市内	四肢の不自由な方に向け快活された、右手を指1本で演奏すると左手の自動伴奏がついてきて、誰もが素敵な演奏をすることができる夢のピアノの体験を行います。
50	通年	共催	学校プログラム	市内小学校	横浜市内小学校・中学校等を対象とし、音楽プログラムの提供を通して、子どもの創造力育成をはかる事業。市内5校に訪問ほか、昨年続き「教師のためのワークショップ」も開催。
51	通年	主催	アーカイブ事業	-	横浜みなとみらいホールの過去から現在までの主催事業等のデータベースを構築。今年度は「横浜市招待国際ピアノ演奏会」のアーカイブ公開に取り組む。

令和5年度 「横浜みなとみらいホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	514,731,000	0	514,731,000	0	514,731,000	横浜市より
指定管理料	514,731,000		514,731,000		514,731,000	
市受託料収入	20,000,000		20,000,000		20,000,000	心の教育ふれあいコンサート受託料
利用料金収入	207,850,000		207,850,000		207,850,000	
自主事業収入	117,746,000		117,746,000		117,746,000	
自主事業収入	114,946,000		114,946,000		114,946,000	入場料収入、講座料収入等
横浜市負担金収入(教育PFなど)	800,000		800,000		800,000	学校プログラムコーディネーター、地域協働(金沢区)負担金
その他負担金収入	2,000,000		2,000,000		2,000,000	オーチャードホールN響公演負担金
雑入	32,828,000	0	32,828,000	0	32,828,000	
印刷代	62,000		62,000		62,000	利用者コピー代
自動販売機手数料	807,000		807,000		807,000	
国庫助成金	26,000,000		26,000,000		26,000,000	文化庁支援事業
民間協賛金・助成金・寄付金	1,200,000		1,200,000		1,200,000	企業協賛金等
その他	4,759,000		4,759,000		4,759,000	チケット販売手数料、利用者ゴミ処理代
収入合計	893,155,000	0	893,155,000	0	893,155,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	254,680,000	0	254,680,000	0	254,680,000	
給与・賃金	211,191,000		211,191,000		211,191,000	館長以下事務所スタッフ、チケットセンター、レセプションニスト
社会保険料	23,150,000		23,150,000		23,150,000	
通勤手当	14,361,000		14,361,000		14,361,000	職員、アルバイトの通勤費
健康診断費	231,000		231,000		231,000	
勤労者福祉共済掛金	114,000		114,000		114,000	
退職給付引当金繰入額	5,633,000		5,633,000		5,633,000	
事務費	43,186,000	0	43,186,000	0	43,186,000	各費目の自主事業にかかる経費については「自主事業費」に計上
旅費	804,000		804,000		804,000	職員出張旅費等
消耗品費	5,102,000		5,102,000		5,102,000	施設消耗品、舞台消耗品、衛生用紙類、事務機器消耗品等
会議随費	80,000		80,000		80,000	出席者お茶代等
印刷製本費	325,000		325,000		325,000	施設パンフレット、様式等印刷費
通信費	2,848,000		2,848,000		2,848,000	電話、ネット回線費用、宅配便、郵送費
使用料及び賃借料	12,203,000	0	12,203,000	0	12,203,000	
横浜市への支払分	222,000		222,000		222,000	横浜市目的外使用料(ドリンクコーナー等)
その他	11,981,000		11,981,000		11,981,000	B1駐車場、コピー機、玄関マット等
備品購入費	350,000		350,000		350,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	150,000		150,000		150,000	
委託費	16,629,000		16,629,000		16,629,000	予約システム、チケットシステム、託児等に係る委託費
職員等研修費	234,000		234,000		234,000	
振込手数料	480,000		480,000		480,000	銀行振込手数料
リース料	600,000		600,000		600,000	PCリース料
手数料	3,061,000		3,061,000		3,061,000	クレジットカード決済手数料、廃棄物処理費等
地域協力費	320,000		320,000		320,000	地域イベントへの広告出稿等
事業費	168,457,000	0	168,457,000	0	168,457,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	20,760,000		20,760,000		20,760,000	「心の教育ふれあいコンサート」の支出
自主事業費	147,697,000		147,697,000		147,697,000	出演料他、自主事業にかかる支出
管理費	364,565,000	0	364,565,000	0	364,565,000	
光熱水費	137,340,000	0	137,340,000	0	137,340,000	
電気料金	49,000,000		49,000,000		49,000,000	
冷温水料金	81,000,000		81,000,000		81,000,000	DHC温熱、冷熱料金
水道料金	7,340,000		7,340,000		7,340,000	上下水道料金
清掃費	0		0		0	建物管理費に含む
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	小破修繕費
機械警備費	330,000		330,000		330,000	
設備保全費	201,692,000	0	201,692,000	0	201,692,000	
建物管理費	110,000,000		110,000,000		110,000,000	設備運転・監視、日常・定期清掃等 建物統括業務
電気設備保守	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
その他委託費	84,789,000		84,789,000		84,789,000	舞台技術員、有人警備、BAシステム、客席保守点検等
その他保全費	5,303,000		5,303,000		5,303,000	楽器(ピアノ、オルガン)保守経費
共益費	23,203,000		23,203,000		23,203,000	クイーンズスクエア横浜管理組合経費、各種団体会費等
公租公課	23,658,000	0	23,658,000	0	23,658,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	23,478,000		23,478,000		23,478,000	
印紙税	150,000		150,000		150,000	各種契約等にかかる印紙代
その他	30,000		30,000		30,000	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	59,928,000	0	59,928,000	0	59,928,000	
本部分	59,928,000		59,928,000		59,928,000	財団事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	0		0		0	
支出合計	914,474,000	0	914,474,000	0	914,474,000	
差引	△ 21,319,000	0	△ 21,319,000	0	△ 21,319,000	

自主事業費収入	144,946,000	0	144,946,000	0	144,946,000	「心の教育ふれあいコンサート」を除く
自主事業費支出	147,697,000	0	147,697,000	0	147,697,000	「心の教育ふれあいコンサート」を除く
自主事業収支	△ 2,751,000	0	△ 2,751,000	0	△ 2,751,000	